

令和7年度 算数科 授業改善推進プラン

- 1 大田区学習効果測定の結果分析（昨年度の授業改善プランの検証を含む）
 正答率が目標値と比較して±5ポイントを基準として≒で表す。
 基準を上回るものを☆、下回るものを▽で表す。

	領域	令和7年度	令和6年度
第4学年	数と計算	≒	/
	図形	≒	
	測定（4年）	≒	
	データの活用	☆	
第5学年	数と計算	≒	≒
	図形	≒	☆
	変化と関係	☆	☆
	データの活用	☆	☆
第6学年	数と計算	▽	▽
	図形	▽	▽
	変化と関係	▽	▽
	データの活用	▽	▽

〈昨年度の授業改善プランの成果〉

問題解決学習の中で、自分の考えを伝えながら、話し合っ解決する機会を増やしたことで、記述問題（数と計算・変化と関係）の正答率が目標値より上回った。

〈正答率の低かった問題〉（数と計算領域）

4年…余りのあるわり算の文章題

5年…四則の混じった式の計算順序の理解

6年…図（数直線）を使って、小数のかけ算の文章題に合った式を立式する

2 授業改善のポイント

図（数直線）を使って正しく立式するために

低学年	「数の線」を使って数の大小や順序、「テープ図」や「線分図」を使って数量の関係やかけ算の意味を視覚的に理解させるようにする。
中学年	数量の関係やなぜその式になるのかを2本の数直線（比例数直線）に表して説明する活動を増やす。
高学年	数直線や図、表等を使って自力解決や集団討議を行うことを繰り返し、文章を読み取ったり式を立てたりする力を高めていく。